

令和3年6月15日（火）

遊びで芽生える協同性

年中児の外遊びのひとつ。ネコになりきった子が積み木で乗り物を作ってブーンブーンと乗っています。ママ役の子はネコにあげるためにお料理中。ネコちゃんが急に横たわり、病気になりました。「病気になっちゃったよ。病気になっちゃったよ。」と大きな声で言っていると、近くで別の遊びをしていた子たちが、「ピーポーピーポー」と救急車に変身し、やって来ました。病気になったねこの声を聴いて、急きょ救急隊が結成されたのです。

遊びの中で子どもたちはたくさんのことを学んでいます。ふと聞こえた言葉に共感し、友達の思いに応えようしたり、シチュエーションを共有したり。積み木はベッドになり車になりロケットにもなります。想像力と想像力が育まれる「好きな遊び」の時間を大切にしています。



「ネコちゃんなの。」「ニャーニャー。」
ネコのおうちです。
ネコちゃんが急に病気になりました。
「病気になっちゃったよ、病気になっちゃったよ。」



近くから「ピーポーピーポー」と
救急隊の音が聞こえてきました。



楽しそうな遊びに、近くにいた友達も
「いれて」と集まってきました。

ネコのママと一緒に料理を作り、
「ネコちゃん、ご飯作ってるからね。」
と声をかけます。



傍らでは積み木を組み立てて
「見て見てロケット！」と自分の遊びを
楽しんでいる子もいます。

いろいろな遊びが同時に進んでいます。